

事業 3 - 1 地域公共交通のオープンデータ化関係

■ GTFS-JPの一括公開

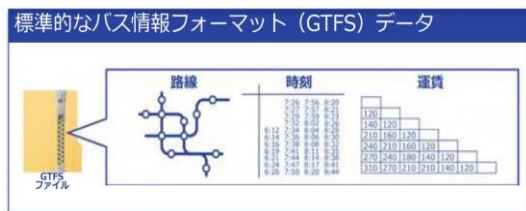
- 県がまとめてWeb上で各交通事業者及び市町村の路線情報、時刻表、停留所位置、運賃等（GTFS-JP）の情報を**年度内を目途に公開**

■ GTFS-JP作成支援

- 市町村を対象にGTFSの基礎を学ぶ**勉強会**、市町村が取り組む域内交通の**GTFS作成サポート講習会等を開催**
- バス事業者及び市町村におけるオープンデータ化の割合を**令和12年度までに100%**を目指す（令和5年12月現在20.8%）



➤ GTFS-JPデータ



※バス事業者：路線バス
 ※市町村：独自に取り組む域内交通

➤ オープンデータWeb（イメージ） —（参考）山形県HP

公共交通の路線・停留所・時刻表情報（GTFS-JP）

※過去の作成データや更新経緯については、「GTFSデータリポジトリ（外部サイトへリンク）」において掲載します。

データ作成者	収録路線	GTFSデータ (ライセンス:CCBY)	データ開始日	データ終了日	備考
山形市	ベニちゃんバス、 高森線、南部線 等	山形市（発行）（外部サイトへリンク）	2024年4月1日	2025年3月31日	2024
米沢市	市民バス	米沢市（発行）（外部サイトへリンク）	2024年4月1日	2024年11月30日	2024
鶴岡市	羽黒地域市営バス、 朝日地域市営バス	鶴岡市（発行）（外部サイトへリンク）	2024年4月30日	2025年4月29日	2024
酒田市	ふるふるバス	酒田市（発行）（外部サイトへリンク）	2022年8月1日	2025年7月31日	2022
新庄市	新庄市（発行）（外部サイトへリンク）	新庄市（発行）（外部サイトへリンク）	2022年10月1日	2024年9月30日	2022

➤ 地図・経路検索サービスへの 情報掲載






デジタル技術を活用した地域公共交通サービスの効率化・利便性向上

事業3-2 キャッシュレス決済の普及関係

事業4-1 地域公共交通に係る利用実績データの利活用方策の確立関係

令和6年5月以降の県内路線バス導入計画

福島交通 (約390台)	<ul style="list-style-type: none">NORUCAクレジットカードタッチ決済(Visa、JCB等)QRコード決済(PayPay、楽天Pay等)電子マネー(WAON、nanaco)	 新NORUCA
会津バス (約140台)	<ul style="list-style-type: none">AIZU NORUCAクレジットカードタッチ決済(Visa、JCB等)QRコード決済(PayPay、楽天Pay等)電子マネー(WAON、nanaco)	 AIZU NORUCA
新常磐交通 (約160台)	<ul style="list-style-type: none">LOCOCA (ロコカ) Suica機能を持つ地域連携ICカード	 LOCOCA
JRバス関東 (約10台)	<ul style="list-style-type: none">LOCOCA (ロコカ) Suica機能を持つ地域連携ICカード	 LOCOCA

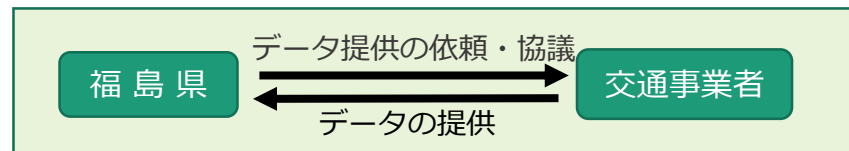
キャッシュレス決済乗降データを活用した分析等

●目的

- 法定協議会等において、キャッシュレス決済による乗降データをバス路線の再編・見直しに活用

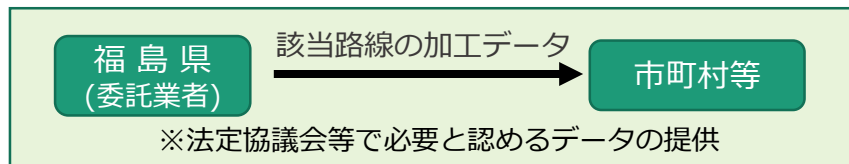
●データ提供への同意

- 各交通事業者から県への乗降データ提供の利用目的や使用範囲について同意
- 県から提供を求める乗降データは、県と交通事業者で都度協議



●使用の範囲

- 交通事業者から県に提供された実績データは第三者に公開しない
- ただし、法定協議会等において、バス路線に係る協議を行う場合は、事業者と協議の上、加工データを公開
- 市町村が路線バスの実績データを求める場合は、各交通事業者と市町村間で別途協議



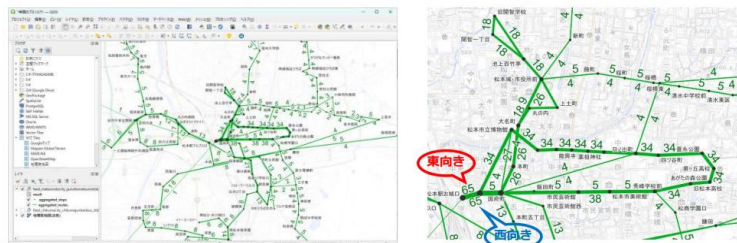
デジタル技術を活用した地域公共交通サービスの効率化・利便性向上

【参考】GTFS・乗降データの活用例

■ GTFSを活用した交通データ分析 (GTFS-GO、Will Smart)

GTFS-GOとは (おさらい)

- 公共交通機関のデータ (GTFSデータ) をQGIS上で可視化するツール
- 停留所間の運行頻度の集計が簡単にできる
- GTFSは時系列に紐づく情報を持っているため、特定の日付における運行頻度や、指定時間内における運行頻度を可視化する事ができる



GTFSデータを、停留所区間ごとに地図上に簡単に可視化できるので便利！
運行頻度以外の区間データと組み合わせが自由に可能

● Will Smart : 乗車分析

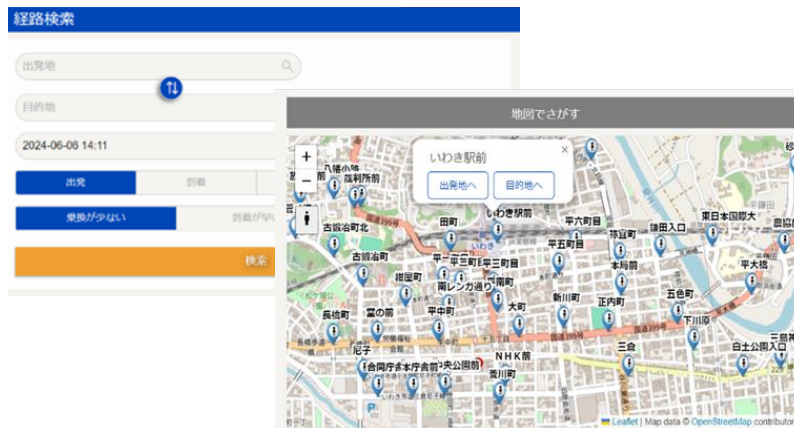


- GTFS-JPや乗降データを活用することで、利用状況の分析、効果的な路線再編のためのデータ分析が可能
- デジタルサイネージにより、公共交通の利用促進を図ることが可能
- その他の活用事例やGTFS作成方法についても、勉強会等で紹介

● バスロケーションシステム



● バスくる



デジタル技術を活用した地域公共交通サービスの効率化・利便性向上

事業3-1 データ活用による情報発信強化関係

■ ふくしま公共交通デジタルマップ・Webサイト構築事業（令和6年度）

福島県内の様々な公共交通手段（JR東日本、第三セクター鉄道、各地域のバス事業者、自治体運営の交通）の情報をデジタルで一元化することを促進し、各々のホームページ等と連携するデジタルマップの整備及びWebサイトを構築

デジタルマップ(イメージ)



- GTFSデータを取り込み、路線やバス停、車両位置情報をマップ上に表示
- 外部の乗換案内サービス、経路検索サービスと連携
- CMS機能を活用し、**各自治体等でデマンド交通の情報やサイクルステーション等のスポットの登録が可能**

Webサイト(イメージ)



- デジタルマップの基本操作や交通事業者、関係団体へのリンク等を掲載